

令和4年度第2回蒲郡市子ども・子育て会議 議事録

日 時	令和4年8月18日(木) 10:00から10:50まで
場 所	蒲郡市役所 305会議室
出席者	(委員) 14名出席 ※別紙出席者名簿のとおり (事務局) 子育て支援課: 次長、主幹、主幹、係長、主事、主事補
配布資料	・令和4年度第2回蒲郡市子ども・子育て会議 次第 ・資料1 令和3年度第2回蒲郡市子ども・子育て会議 議事録について 子ども・子育て支援事業計画の令和3年度進捗状況の点検・評価書案、コンシェルジュ だより

議事: (進行) 事務局 高橋晃健康福祉部子育て支援課長

- 蒲郡市保育園父母の会連絡協議会 飛田 友紀 欠席
- 蒲郡市小中学校 PTA 連絡協議会 小田 恵美 欠席
- 木船幼稚園父母の会 山下 真弘 欠席
- がまごおり児童館 牧野 朱美子 欠席
- 健康推進課長 (代理岡本保健師)
- 資料の確認

1 あいさつ

(渡辺会長) みなさんこんにちは。先日、閉園された塩津北保育園の跡を通りかかったら基礎工事が始まっています、来年開園されるんだなんて思いながらコンシェルジュ便りを見ると、小規模保育事業むつみの丘が開園される予定であるということです。先日は一挙に評価書を点検していただいたので、今日は少し余裕があるのではないかと思いますので皆さんのご意見をいただきたいと思います。よろしくお願いします。

では、議題に入る前に前回皆さんにご意見いただいた令和3年度の進捗状況の点検・評価書について事務局から説明をお願いします。

2 令和3年度進捗状況の点検評価について

- 令和3年度進捗状況について事務局倉橋から説明

3 第2期蒲郡市子ども・子育て支援事業計画に関する中間年の見直しについて

- 資料1 子ども・子育て支援事業計画に関する中間見直しについて

(事務局倉橋からの説明)

(渡辺会長) 皆様からご質問やご意見ありましたら、お願いします。

1から3については、10%未満の乖離はないということですね。

(事務局倉橋からの説明)

質疑応答

(渡辺会長) 4番以降最後まででの事業で何か質問があれば、お願いします。

(事務局高橋) 今内容については今説明があったとおりになりますけれども、なかなかこの利用率

子育て支援計画の評価として利用率を出しているんですけど、利用率の考え方がちょっとわかりづらいところはあるかと思います。これは事業の1～3についても、括弧書きで書いてあったりしますし、事業10のファミリーサポートセンターについても、計画上の評価としては、就学時の、件数だけあたって率を出している。実際は未就学児が利用の中心だったりするんですけども、就学児だけの率を出しているような評価になっているんですけども、基本は国の示す市町村の子育て事業計画の例をもとに蒲郡も作ってきておりますけれども、実際我々も率を出したり評価したりする時に括弧書きを説明したり、実際なかなかわかりづらい説明になってしまう。毎年、あるものですから、まだこれ第2期の子ども子育て支援事業計画はそういうふうにならされているので、これでいくんですけども、また、第3期っていうのがあります。その時にはもう少し、蒲郡バージョンにしていくとか、評価の仕方とか率の出し方なんかも、よりわかりやすい出し方にしていきたいなというふうには思っております。

(渡辺会長)      ありがとうございます。他に何か意見がありましたらどうぞ。

(事務局高橋)    またすいません。子育て支援課長の高橋です。基本的にこの見直しは、事業の1～3の教育保育ニーズに大きな乖離がある場合には見直していきましようっていうのが基本的な考えでありまして、他の事業についてもこうやって、実績をちょっと見てもらっているわけなんですけれども、この事業4から14についてはいろいろ10%以上の乖離なんかもありますけれども、これは毎年毎年の点検評価をさせていただいておりますので、そういった中でご意見をいただきながら改善をしていくという形になっております。

#### ●事業全体をとおして

(鈴木委員)      失礼します。特に見せていただいて、何か10%の乖離っていう問題に関しては、特にないかなって思いました。もうちょっと掘り下げてみると、出てくるのがよくあるのは教育保育の3号認定、のところがその年齢によって、他の地域で見せいただくと1歳あたりが非常に乖離が出てしまう。要するに、多分産休育休明けの子たちがうまく読めない。というふうに出てくる地域もあったり、2歳児ぐらいのところはちょっと乖離が大きいとかっていう問題が細かく言うと出てくるっていうところも、稀にあるんですけど、多分今この94.3%だと、平均的に大丈夫なのかなって言うふうにお見受けしました。来年以降また、こども家庭庁という新設に伴ってどういう形でこの教育と保育っていうのを切り分け、切り分けはしないと思うんですけども、その幼稚園っていうところがまた別途違う意味をなしてくるっていうか、基本的には蒲郡市さんでいえば、私立園、私立幼稚園というのが少ないっていう状態になりますので、そこの計算、失礼な言い方すると非常にだぶついてしまっている市町村がたくさんある。幼稚園の方が余ってしまうとか、ということの問題点も指摘されていますので、そこら辺のバランスをこれからどう取っていくかかなって言うことは思いますが、とりあえず市なんか多分3号認定のところは94.3%っていうことは、1歳、2歳にかかわらず同じぐらいの平均値なのかなというふうにお見受けしました。特に、問題を感じませんでした。

(渡辺会長) ありがとうございます。年齢によって難しい問題が多くなっていくところがありますか。

(事務局高橋) そうですねやっぱり年齢別で、やはり若干凸凹はしております。それよりも蒲郡の場合ですと地域によっての差があります。低年齢児をやってない地域という部分もありますので、そこはすぐに改善できるものではないんですけどもこれは引き続き課題として認識はしております。

(渡辺会長) 蒲郡としては地域の格差、これを改善していくということですね。

### (3) その他

---

●コンシェルジュだよりの配布説明

以上